
令和8年度 アクセラレータ・プログラムと 起業家応援団との連携のための標準マニュアル

令和8年6月26日(金)時点

標準マニュアルの目的と構成

標準マニュアルの目的

- 国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)では、ICT分野における我が国の国際競争力の向上及び地域発ICTスタートアップ創出による地域活性化を図るため、全国各地において地域発ICTスタートアップ創出のエコシステム作りを応援するとともに、地域から世界へと大きく成長する地域発ICTスタートアップの創出を目指しています。これを実現する上では、全国各地で、有望な学生の育成や、若手起業家のサポート等に取り組まれている組織・団体等(起業家応援団)との連携が必須であると考えています。
- この連携においては、NICTと起業家応援団が、地域発ICTスタートアップ創出のエコシステム作りという同じ目的を共有している必要があり、それぞれの協力体制を構築することが重要であるといえます。
- 本標準マニュアルは、NICTが考える地域発ICTスタートアップ創出のエコシステム作りの理解を深め、NICTと起業家応援団が協力体制を構築する上で必要な前提について共通理解を得ることを目的としています。

標準マニュアルの構成

NICTが考える地域発ICTスタートアップ創出
エコシステム作りの理解

NICTと起業家応援団が協力体制を構築する上で
必要な前提についての共通理解

1

4つの視点とは

2

アクセラレータ・
プログラムとは

3

NICTと連携することの
メリット

4

連携の上で
起業家応援団の
皆様にご対応
いただきたいこと

5

「起業家甲子園」
「起業家万博」
開催概要(予定)

地域からスタートアップが生まれ、成長するための共通言語「4つの視点」とは

共通言語「4つの視点」に基づくコミュニケーション

- ICTメンタープラットフォームでは、地域発ICTスタートアップの創出・成長の結果、地域産業の活性化につながる地域ICTイノベーション・エコシステムの形成に向け「どのような取組をすれば良いか？」を検討する上の共通言語として、4つの視点「シン・産業創出力」を図る指標を提案します。
- 4つの視点(シン・産業創出力)は、NICTが起業家応援団と連携し、サポートする上での「共通言語」としても活用し、何が揃っていて何が不足しているのか？を明確にし、各種施策を実施し補完していくよう、各地域と連携する。

地域からスタートアップが生まれ・成長し、地域産業の活性化につなげるための 4つの視点「シン・産業創出力」

大前提	地域の特徴・強みを生かしたスタートアップ育成に向けてのビジョンを地域の産業振興の施策として描き共有する。			
地域から起業家を 増やすために 必要な要素	1 起業家の源泉へのリーチ 大学・高専などの 研究機関へのリーチ		2 目線の向上機会の提供 先輩起業家等のロールモデルの提示・接点 の提供	
	3 十分なシード資金の 供給環境の整備 シードラウンドでリード投資 可能なVC・エンジェル・地域金融機関・大 学ファンドの増額、リード投資に向けた巻き 込み		4 オープンイノベーションの推進 ✓ 地域特有ニーズを活かしたPoC機会 の提供 ✓ 協業環境の整備／等	

地域 I C T イノベーション・エコシステム

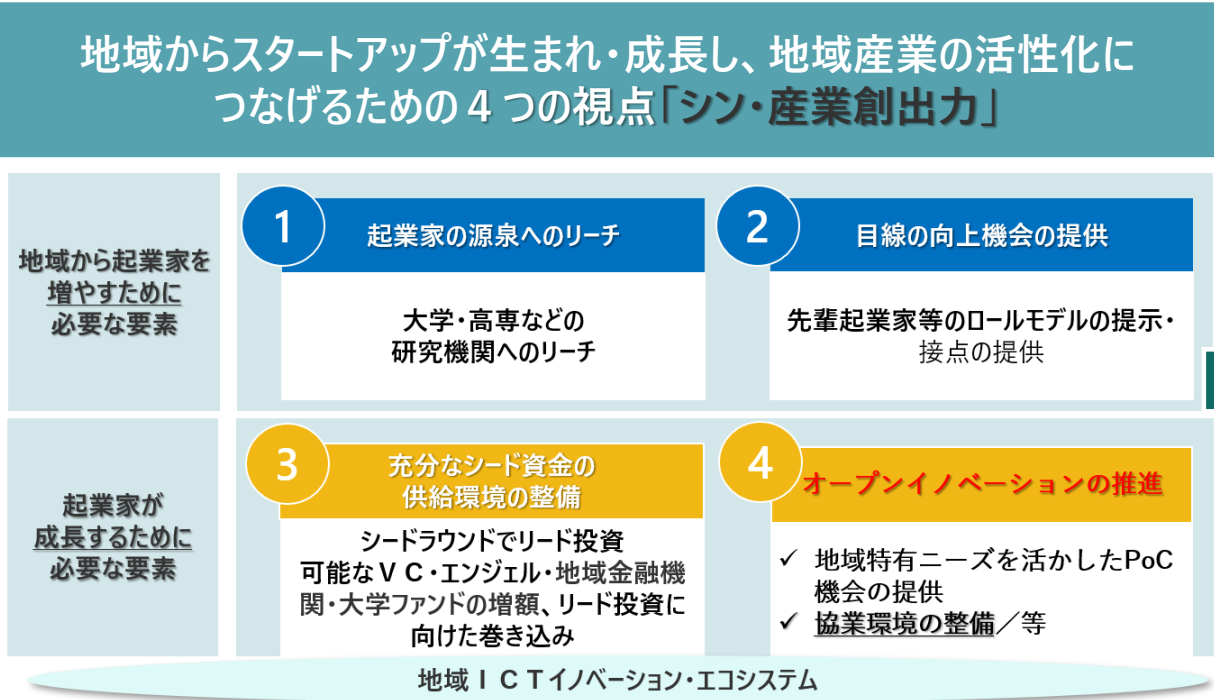
起業家応援団のみなさまとの共通言語としたい
「『シン・産業創出力』指標」～成功する連携イベントづくりチェックリスト～

ver1.0

令和8年6月

指標づくりの主旨

- 連携する起業家応援団との間で、シン・産業創出力の4つの視点(共通言語)をベースに、PDCAサイクルを回し、車輪の再発明を防ぎ、各地のイノベーション・エコシステムの**成果を年々積み上げていくことを目的**として、活動状況を可視化しやすくするための「指標」を作成し、地域と連携するイノベーション・ハブ機能を強化することを目指しています。
- 令和7(2025)年度はシン・産業創出力指標(draft版)を作成し、事務局にて試験運用してまいりましたが、令和8(2026)年度は「シン・産業創出力指標～**成功する連携イベントづくりチェックリスト**～Ver.1.0」として本格運用してまいります。



シン・産業創出力指標

【共有したい目標】グローバルで活躍できる地域発ICTスタートアップを輩出する
そのために、
【共有したい前提】地域の強み・特徴を活かした支援策（イベント）のあり方を描く
・スタートアップにとって魅力的な地域の特徴・強みが明確になっているか
・スタートアップにとって魅力的な地域の特徴・強みを活かしたイベントになっているか

■ 以下に合わせて目指すゴールを一文で表現してみましょう。
「〇〇を目的に、地域のアセットである〇〇を活かし、〇〇を目標に開催します。」

視点①量の確保：起業家の源泉へのリーチ：教育機関等との網羅的かつ強固な関係により起業家が輩出され続ける仕組みが構築されている			
指標項目案	取組の有無	目標設定	具体的な取組み内容
1. 地域内の教育機関等においてターゲットとなる先を網羅的に把握している		●件	
2. 地域内の教育機関等のキーマンを把握し、起業家を発掘するためのパイプを網羅的に構築している		●人	
3. 既存のパイプを毎年アップデートし、更に起業家の源泉となり得る先を探索している		●件	
視点②質の向上：目線向上機会の提供：ステージに見合った目線向上の機会（先輩起業家等のロールモデルの存在）を提供できている			
指標項目案	取組の有無	目標設定	具体的な取組み内容
1. 事業の成長段階に合わせた地域のロールモデル（先輩起業家、EXIT経験者等）を設定している。			
2. 過去登壇者等ロールモデルとなる起業家等とのパイプがあり、イベントに招いている。		●人	
3. グローバルの視点で事業を成長させた経験のある起業家等とのパイプがあり、イベントに招いている。		●人	
視点③魅力の向上：十分なシード資金供給環境の整備：シード期に必要な資金がスタートアップに供給される手段で地域で構築できている			
指標項目案	取組の有無	目標設定	具体的な取組み内容
1. スタートアップの成長に資する公的資金や地域の金融機関等の融資に関する情報提供ができている		●件	
2. シードでリード投資可能なVCや大学ギャップファンド関係者とのパイプがあり、イベントに招いている		●社	
3. 海外展開や大規模・長期の資金需要に応えるCVC・事業会社等とのパイプがあり、イベントに招いている。		●社	
視点④魅力の向上：地域の特徴・強みを活かした協業環境の整備：地域の企業等と協業しやすい環境が構築できている			
指標項目案	取組の有無	目標設定	具体的な取組み内容
1. 世界に通用する競争力の高い領域・資源を、スタートアップに提供できる状態で整備している			
2. 地域の老舗企業や中核企業のキーマンが参加し、パートナー企業賞等を提供している		●社	
3. 地域の老舗企業・中核企業のキーマンとのビジネスマッチング機会をイベント内で提供している		●社	

シン・産業創出力～成功する連携イベントづくりチェックリスト～

【共有したい目標】グローバルで活躍できる地域発ICTスタートアップを輩出する
そのために、
【共有したい前提】地域の強み・特徴を活かした支援策（イベント）のあり方を描く
・スタートアップにとって魅力的な地域の特徴・強みが明確になっているか
・スタートアップにとって魅力的な地域の特徴・強みを活かしたイベントになっているか

■ 以下に合わせて目指すゴールを一文で表現してみましょう。
「〇〇を目的に、地域のアセットである〇〇を活かし、〇〇を目標に開催します。」

視点①量の確保：起業家の源泉へのリーチ：教育機関等との網羅的かつ強固な関係により起業家が輩出され続ける仕組みが構築されている			
指標項目案	取組の有無	目標設定	具体的な取組み内容
1. 地域内の教育機関等においてターゲットとなる先を網羅的に把握している		●件	
2. 地域内の教育機関等のキーマンを把握し、起業家を発掘するためのパイプを網羅的に構築している		●人	
3. 既存のパイプを毎年アップデートし、更に起業家の源泉となり得る先を探索している		●件	
視点②質の向上：目線向上機会の提供：ステージに見合った目線向上の機会（先輩起業家等のロールモデルの存在）を提供できている			
指標項目案	取組の有無	目標設定	具体的な取組み内容
1. 事業の成長段階に合わせた地域のロールモデル（先輩起業家、EXIT経験者等）を設定している。			
2. 過去登壇者等ロールモデルとなる起業家等とのパイプがあり、イベントに招いている。		●人	
3. グローバルの視点で事業を成長させた経験のある起業家等とのパイプがあり、イベントに招いている。		●人	
視点③魅力の向上：十分なシード資金供給環境の整備：シード期に必要な資金がスタートアップに供給される手段を地域で構築できている			
指標項目案	取組の有無	目標設定	具体的な取組み内容
1. スタートアップの成長に資する公的資金や地域の金融機関等の融資に関する情報提供ができている		●件	
2. シードでリード投資可能なVCや大学ギャップファンド関係者とのパイプがあり、イベントに招いている		●社	
3. 海外展開や大規模・長期の資金需要に応えるCVC・事業会社等とのパイプがあり、イベントに招いている。		●社	
視点④魅力の向上：地域の特徴・強みを活かした協業環境の整備：地域の企業等と協業しやすい環境が構築できている			
指標項目案	取組の有無	目標設定	具体的な取組み内容
1. 世界に通用する競争力の高い領域・資源を、スタートアップに提供できる状態で整備している			
2. 地域の老舗企業や中核企業のキーマンが参加し、パートナー企業賞等を提供している		●社	
3. 地域の老舗企業・中核企業のキーマンとのビジネスマッチング機会をイベント内で提供している		●社	

「シン・産業創出力」指標の活用イメージ

イメージ① 起業家応援団のみなさまとNICTの連携強化での活用

連携強化に向けた**共通言語**として

起業家応援団のみなさまと、起業家支援のための持続可能な共存**共栄**を目指す仕組みを築き上げていくために、NICT/ICTメンタープラットフォームが貢献できることを整理し新たな施策の検討も適宜行う。(例:One on Oneイベントの実施で「メンタープログラムの整備」を強化、「研究シーズの事業化支援」のために別制度の紹介を行う etc.)

イメージ② 起業家応援団のみなさま同士での活用(1)**地域内連携**

地域内での自己評価・目標づくり・目線合わせの道具として

地域内のステークホルダー同士で、項目に沿って取組の有無を可視化することで、地域での起業家育成の現状を同じ目線で把握。必要なアクションを検討する。測定には、担当ICTメンターやNICTも必要に応じて加わって一緒に行う。(例:個別プログラムの拡充、地域内の他プログラム、支援メニュー間の連携の強化etc.)

イメージ③ 起業家応援団のみなさま同士での活用(2)**地域外連携**

地域間での取組のシェアを行う共通のものさしとして

同じ指標を用いた取組状況の可視化を行うことで、他地域の起業家応援団が作り上げている支援の特徴や、先駆事例、活動プロセス、お悩みなどを共有し、相互の取組のブラッシュアップや連携機会を作る。(例:複数地域間での意見交換会、他地域の取組の導入etc.)

今後の「シン・産業創出力」指標の策定・ブラッシュアップのプロセス

- 起業家応援団、ICTメンター、NICTでの共有すべき目標について、共有し
- 共有された目標に対して、具体的なアクションを描くためのツールとしての活用を目指します。

1. 「第1回ICTメンター会議兼起業家応援団連携会議(キックオフ)」でのご提示

- (1) 事務局より今回の指標作成の意図・目的のご説明
- (2) 事務局作成の指標案について、メンターのみなさまとのグループワーク(ディスカッション)
- (3) 起業家応援団のみなさまからのご意見・ご感想

[みなさまとお話したいこと]

- ・地域の特徴・強みや課題の共有
- ・地域連携イベントとして目指すゴールの共有化

2. 起業家応援団のみなさまとの意見交換(連携イベント開催後1ヶ月ごろを目途)

- (1) 起業家応援団のみなさまとの個別の意見交換(別途調整)
- (2) 指標を元にした次年度以降のお取り組みへの反映方法の検討

[みなさまとお話したいこと]

- ・本事業での起業家応援団のみなさまとNICT/ICTメンタープラットフォームの連携深化のための目線合わせ
- ・起業家応援団のみなさまに向けて、事務局より指標の項目に沿った活動状況のヒアリング

・メンターとの振りかえりミーティング(メンターアンケート・応援団アンケート)のセット

事務局・メンターとのミーティング※メンターは参加できない場合もありますことご了承ください。

日程は、開催1か月後(初回面談後と想定)に設定。(面談の希望日程をイベント前に調整させていただきます。)

3. 最終更新版の作成・ご提示(～3月)

- (1) 起業家応援団のみなさまのお声を伺った上での指標更新および起業家応援団のみなさまによる活用イメージの策定
- (2) NICTおよびICTメンタープラットフォームとして起業家応援団のみなさまへ貢献できる活動を整理

シン・産業創出力指標（用語解説）

用語	解説
グローバルで活躍	国内市場に留まらず、海外市場への進出によって事業を大きく発展させること
地域発スタートアップ	その地域の活性化（地場での産業創出）に寄与する立場を持ちづけるスタートアップであること 例） ・各地域特有の課題の解決に取り組んでいるスタートアップ。 ・課題はグローバルだが、地域（の拠点）から生まれた課題解決方法を用いているスタートアップ。等
ICTスタートアップ	ICTを利活用したビジネスを手がけるスタートアップであること
地域でのビジョン	地域としてスタートアップ育成の先にどのような未来にたどり着きたいのかを描いたもの
PDCAサイクル	計画(Plan)・実行(Do)・評価(Check)・改善(Action)を繰り返し、業務や品質を継続的に向上させる手法
起業家の成長ステージ	起業家の成長について、アイデア創出・検証期から事業化、成長拡大、成熟へと進む発展段階
EXIT経験者	起業後に株式上場(IPO)や事業売却(M&A)などで成功裏に事業を手放した実績を持つ起業家
CVC,VC	CVC(コーポレートベンチャーキャピタル)は事業会社系の投資部門、VC(ベンチャーキャピタル)は独立系のスタートアップ投資ファンド
大学ギャップファンド	大学発の技術シーズを事業化する過程で、研究と起業の間にある資金ギャップを埋めるための支援資金
ディープテック領域	最先端の科学技術研究(AI、量子、バイオ、材料等)を事業化・社会実装することにより、社会課題を解決できる革新的な技術・事業分野。資金面での支援では、一般的には、多額の資金を長期にわたって供給することが求められる
世界に通用する競争力の高い領域・資源	特有の産業技術、自然資源、人材、伝統文化など、国際市場で優位性を持つ地域資産など
地域の老舗企業・中核企業	長年にわたり地域経済を支え、産業や雇用の中心的役割を果たしている企業で、信頼・技術・ネットワークを有する存在

アクセラレータ・プログラムとは

- アクセラレータ・プログラムは、ビジネスコンテストと異なり、「選考・育成プログラム」から「地域における連携大会」までの一連の流れを持つことで、急速な事業成長を志向するスタートアップに特化した支援を可能とします。
- NICTが連携する起業家応援団は、アクセラレータ・プログラムを志向したスタートアップ支援を実施している組織・団体先となります。

ビジネスコンテストとアクセラレータ・プログラムの違い		
	(これまで)ビジネスコンテスト	アクセラレータ・プログラム
概念図	ブラッシュアップセミナー その他 選考 発表イベント ● ブラッシュアップセミナー～発表イベントの流れが不明確 ● ブラッシュアップセミナーへの参加が必須ではなく、その他からも応募 ● 選考プロセスがない場合もあり	選考 育成プログラム Pitch & メンタリング ① Input セミナー Pitch & メンタリング ② 連携大会 「選考・育成プログラム」と「連携大会」が一連の流れ
実施期間	✓ 発表イベント当日のみ(イベント的)	✓ 選考・育成プログラム・連携大会までの数か月間
ブラッシュアップセミナーの位置づけ	✓ イベント的に実施され、参加・不参加は自由(選考はなし) ✓ 発表イベントのための育成になりにくい	✓ 連携大会のためのメンタリング的な位置づけ
支援対象	✓ 幅広く関心のある起業家(志望者含む)	✓ 連携大会が求める起業家像を持った起業家 ✓ 急速な事業成長を志向するスタートアップ

NICTと連携することのメリット

- NICTと連携することにより、NICTから起業家応援団に以下のような機能^{注1}を提供することができます。

全ての
地区に
共通

パートナー企業やVC・ICTメンターとのネットワークづくり

- 「起業家甲子園」・「起業家万博」に関わる多くのパートナー企業やVC・ICTメンターとの関係性を構築することができます。

連携大会としてのプロモーション支援

- 「起業家甲子園」・「起業家万博」の各地域における連携大会として、HPやプレスリリース等においてプロモーションを行います。

「起業家甲子園」・「起業家万博」への出場可能性

- 各地域における連携大会から「起業家甲子園」・「起業家万博」への道を設けることで、貴地域の取組に広がり設けることができます。

各地域の起業家応援団の情報共有の場への参加

- 各地域の起業家応援団の活動内容等について情報共有する場に参加でき、他地域とのネットワーク構築ができます。

ICT
メンターを派遣
する
地区^{注1}

ICTメンターの派遣

- 連携大会・ブラッシュアップセミナー等に、ICTメンターを派遣します。
- また、連携大会において、「NICT賞」(起業家甲子園出場権・起業家万博出場権)^{注2}を獲得した学生・起業家に対して、ICTメンターが、「起業家甲子園」・「起業家万博」出場に向けて継続的にメンタリングやビジネスプランのブラッシュアップを行います。

注1)「ICTメンターを派遣する地区」は、スタートアップ支援に向けた体制整備の取組等を勘案し、事務局にて判断します。

注2)NICT賞はあくまで「出場権」の付与になります。その後のブラッシュアップの状況を踏まえ、令和8年2月頃に出場者を最終決定します。

1. 起業家応援団のみなさまが主催する大会(連携大会)開催時のアンケート展開

- 起業家応援団の皆様が主催する大会(連携大会)では、参加者用アンケートの発表者への展開をお願いいたします。なお、Webアンケートフォームをご準備しておりますのでこちらをご活用ください。
※Wordファイルをご希望の場合は、事務局までご連絡ください。

起業家応援団のみなさまへのご依頼事項

2. 4つの視点に基づいた取組及び情報共有

- NICTが重視する4つの視点(p.2参照)も踏まえながらお取組みを推進いただけますと幸いです。
- NICT・事務局から個別にご連絡させていただいた際には、「シン・産業創出力」指標にもとづく現状の取組状況や今後の取組方針についてもご共有いただけますと大変有難く存じます。

3. 連携大会等実施報告書(NICT指定フォーマット)の作成

- 連携大会前後での連携大会等実施報告書の作成をお願いいたします。NICTHPからDL可能ですので、こちらをご活用ください。
(https://www.nict.go.jp/venture/materials_program.html)

ICTメンター派遣時の対応及びNICT賞（起業家甲子園出場権・起業家万博出場権）^注の授与への対応

【ICTメンター派遣地区へのご依頼事項】

- 地域における連携大会やブラッシュアップセミナー等におけるICTメンターの受け入れをお願いいたします。
- 地域における連携大会の場では、可能な限り「NICT賞」(起業家甲子園出場権・起業家万博出場権)の授与をできるようにご対応いただけますと大変有難く存じます。
(「NICT賞」の該当者がいない場合もあるため、授与有無の両面の可能性を含めた対応を行っていただけますと幸いです)

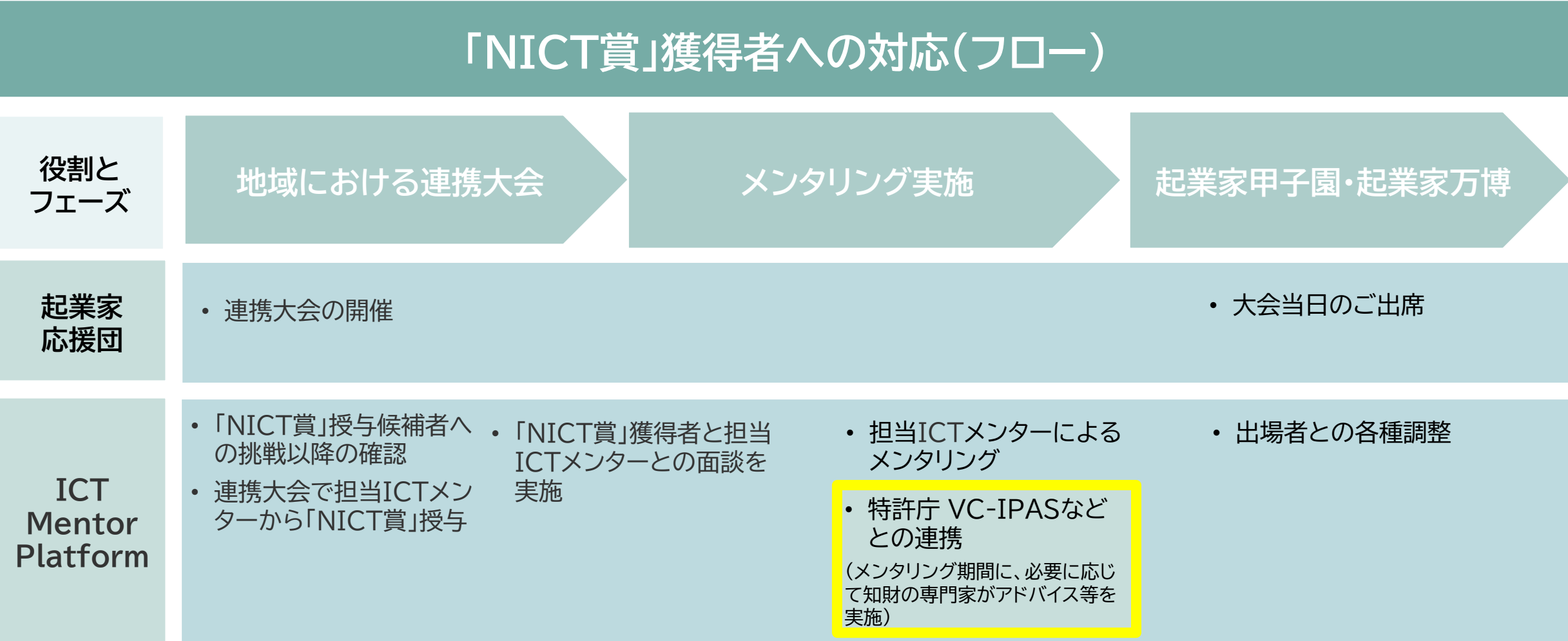
注)NICT賞はあくまで「出場権」の付与になります。その後のブラッシュアップの状況を踏まえ、令和8年2月頃に出場者を最終決定します。

今後の流れ(予定)

フェーズ	①連携に向けた準備	②連携大会の実施 に向けた準備	③連携大会当日	④連携大会後	⑤起業家甲子園 ・万博当日
起業家 応援団	- 意向確認書ご回答(6月) - 連携に向けた打合せの実施(適宜) - 関係者への開催概要等連絡 - 起業家応援団連携会議への参加(7/9)	- 地域における連携大会発表者の選定 - ブラッシュアップセミナー等の実施・アンケート回収	- 主催 - 登壇者アンケート回収(Webフォーム有) - 写真撮影(後日ご提供ください)	- 開催結果アンケート(Webフォーム)ご回答(開催後2週間を目途) 「NICT賞」獲得者フォロー - 開催1か月後面談	- 大会ご出席 - 紹介ショート動画放映提供ご協力 - パブリックビューイングのご協力
NICT/ 事務局	- 意向確認アンケートの実施 - 連携に向けた打合せの実施(適宜) - 派遣するICTメンターの決定 - 起業家応援団連携会議の開催 - ひな型3点(開催概要書・実施報告書・参加者用アンケート)を起業家応援団に送付 - HP等で各地域における連携大会を周知	- 連携大会開催方法等について事前打合せ 「NICT賞」のパネル等送付	- 当日会場参加、ICTメンターのアテンド 「NICT賞」獲得者に対し、今後の流れを説明 - ICTメンターアンケート回収	「NICT賞」獲得者へメンタリングシートとエントリーシートを送付 - 参加者用アンケートの集計 - 起業家甲子園出場権獲得者にシリコンバレーブートキャンプを案内 - 起業家甲子園・起業家万博の出場者の決定(2月)	当日運営
総務省 総合通信局	- 情報共有 - 打合せご同席(任意)	- 情報共有 - 広報協力等	当日参加(任意)	選出結果の広報協力等	パブリックビューイングのご協力
ICT メンター			「NICT賞」獲得者を選抜 「NICT賞」獲得者に対して定期的にメンタリング		- 大会ご出席 - 交流会ご参加 (トークセッションのご登壇)
「NICT賞」 獲得者			起業家甲子園、起業家万博挑戦意向の確認	定期的にICTメンターとメンタリング、メンタリングシート記載・提出	- 大会ご出席 - 交流会ご参加 - パブリックビューイングのご協力

「NICT賞」獲得者への対応について

- NICTは、「NICT賞」(起業家甲子園出場権・起業家万博出場権)獲得者に対し、NICTが運営するICTメンタープラットフォームや、「起業家甲子園」・「起業家万博」の事業について概要を説明し、メンタリングや「起業家甲子園」・「起業家万博」への挑戦の意向を確認します。



「NICT賞」(起業家甲子園・起業家万博出場権)の付与^注に当たっての基本方針(選抜の対象)

R 8 (案)

選抜の対象 起業家甲子園

0. ICTを利活用したビジネスプランを発表したチームであること。
1. 高校生、高専生、大学生、大学院生等の学生で構成されるチームであること。なお、連携大会時に卒業又は卒業見込となるメンバーが所属しているチームについては、当該メンバーがチーム内で主要な役割を担っており、かつ、起業家甲子園開催時点で卒業後1年以内である場合に限り、NICT賞の授与を可とする。
2. 原則として、チームのメンバー全員が30歳未満であること。
3. 地域の特色を生かしたビジネスプランを発表したチームであること。
4. これまでに「起業家甲子園」への出場経験のあるメンバーで構成されるチームは、選抜の対象外とする。ただし、当該チームに新規のメンバーが参画し、かつ、過去に「起業家甲子園」で発表したビジネスプランから大幅に進捗していると判断される場合においては、この限りでない。
5. 発表時点で最低限でもプロトタイプレベルの実装済みであることが望ましいが、起業の有無は問わない。

選抜の対象 起業家万博

0. ICTを利活用したビジネスプランを発表したスタートアップであること。
1. 起業、事業計画の策定、事業拡大等に意欲があり、成長志向が強いこと。
2. 次のア、イ及びウのいずれかに該当するスタートアップであること。ただし、いずれにおいても大企業からスピンアウトして誕生しているスタートアップは除く。
 - ア 概ね過去3年以内に新規事業を開始し、資金調達を目指している
 - イ 協業者となる企業を模索している
 - ウ 概ね今後1年以内に新規事業の開始を目指している
3. 地域の特色を生かしたビジネスプランを発表したスタートアップであること。

注)NICT賞はあくまで「出場権」の付与になります。
その後のブラッシュアップの状況を踏まえ、令和9年2月頃に出場者を最終決定します。

「NICT賞」(起業家甲子園・起業家万博出場権)の付与^注に当たっての基本方針(選抜の視点)

R 8 (案)

選抜の視点

- ICTメンター又は事務局が連携大会等に出場する学生チーム・スタートアップの中から、「起業家甲子園」・「起業家万博」への出場を前提として、以下のNICT独自の視点で審査を行い、「NICT賞」(起業家甲子園出場権・起業家万博出場権)注を付与する。

注)NICT賞はあくまで「出場権」の付与になります。その後のブラッシュアップの状況を踏まえ、令和9年2月頃に出場者を最終決定します。

<NICT独自の視点(基本的選抜ポイント)>

【大前提】ICTを活用した自分のアイディアを形にして世の中に広めていきたい、自分の技術を活用して世の中に広めていきたいという意欲がある。

- ① 経営(代表)者が人として魅力的か、意志力・伸びしろはあるか
- ② 魅力的な事業領域か(市場の規模は大きいのか、成長が期待できるか、将来的にグローバルにスケールできる見込みがあるか)
- ③ 勝てる戦略か(独自技術・アイディアがあるか、事業計画に実現可能性、**事業継続性**があるか)
- ④ 地域の「特色」「課題」(**自地域が抱える課題を理解しているか**)、「シーズ(ディープテック領域等)」のいずれかを活用したビジネスか

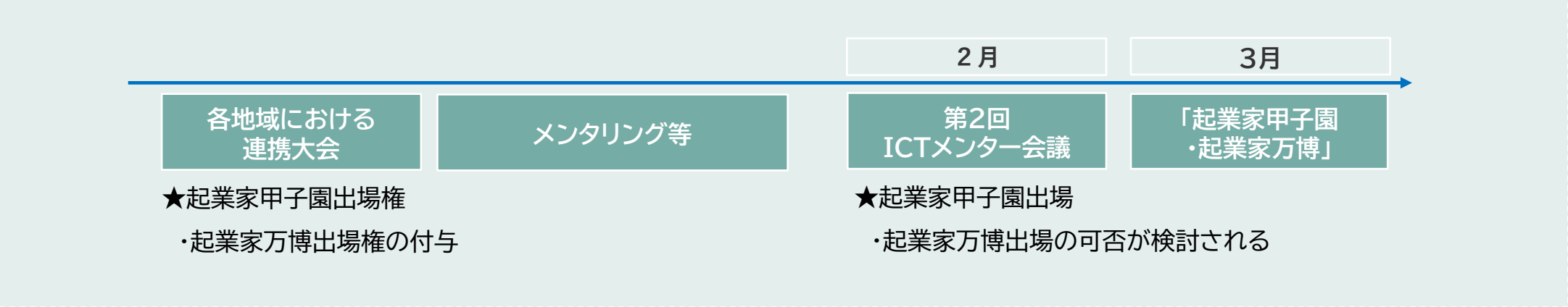
注)NICT賞はあくまで「出場権」の付与になります。

その後のブラッシュアップの状況を踏まえ、令和9年2月頃に出場者を最終決定します。

連携の際の注意点について

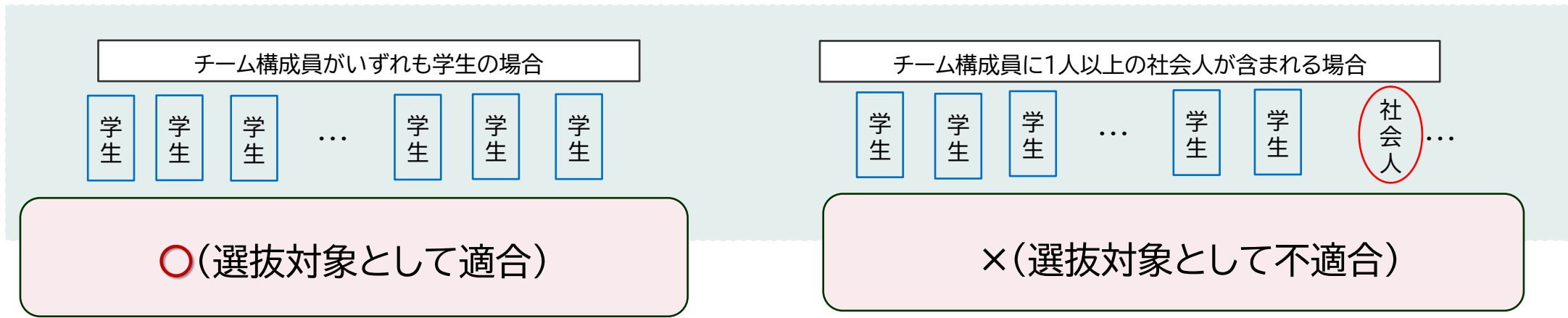
1. 「起業家甲子園」・「起業家万博」における「出場権」について

NICT賞はあくまで「出場権」の付与になります。その後のブラッシュアップの状況を踏まえ、令和9年2月頃に出場者を最終決定します。



2. 「起業家甲子園」の選抜の対象(学生や学生で構成されるチームのイメージ)

起業家甲子園の選抜の対象のうち「高校生、高専生、大学生、大学院生等の学生や学生で構成されるチーム。」とは、次のイメージです。



3. 「起業家甲子園」・「起業家万博」における「出場権」について

- 起業家甲子園に新たな部門の設置や領域による選考枠を設けるのではなく、核となる技術シーズを有する事業化や事業成長が見込まれるビジネスについては原則として「起業家万博」への移行を促すこととし、**起業家甲子園は「起業機会の提供」、起業家万博は「事業成長機会の提供」として目的を明確化**することとした。

① 起業家甲子園選抜における起業家万博枠への移行プロセス

【対象条件】

- ✓ 起業家甲子園の対象者のうち、「**核となる技術シーズを有するビジネスの事業化を目指しているか既に事業化しており、スケールが期待される**」場合

【手続き】

- ・ 連携大会当日に担当メンターと協議

【移行方針】

- ① 担当メンターが上記条件を認めた場合、「起業家万博」枠へ**原則移行**
- ② 対象者の**意思確認**のうえ、本人が望む場合に「起業家万博」枠にて選考

【方針のポイント】

- ・ 核となる技術シーズを有しスケールする可能性が高いビジネス(ディープテック系)と地域や社会課題を解決し地域経済の活性化に資するビジネス(インパクト系)それぞれの強みを持つ取組を、表彰の枠組みを通じて両立して評価する。
- ・ 「起業家万博」枠への移行は、対象者本人の意思を尊重したうえで行う。総務大臣賞とNICT賞は、常に2つの異なるカテゴリーから選出されることを原則とする。

② 本大会の表彰方針(補完ルール)

「起業家甲子園」「起業家万博」の本大会において、審査委員による審査の結果最も優秀と認められた「総務大臣賞」が**ディープテック系(核となる技術シーズを有するビジネス)**であった場合:

▶次点「NICT賞」は**インパクト系(地域・社会課題解決型)**

逆に「総務大臣賞」が**インパクト系**であった場合:

▶次点「NICT賞」は**ディープテック系**

※「起業家甲子園」「起業家万博」の両大会に共通して適用

起業家甲子園・起業家万博における行動規範

新たな挑戦とICT活用により社会をより良くしていく起業家と、その可能性を持つ人々を支援する起業家甲子園・起業家万博の取組みに関わる人の行動規範として以下を定めます。

1. 心の持ちよう

私たちは、挑戦心と学びの意欲を持ち続け、自己成長を追求します。失敗を恐れず、新しいアイデアや可能性に果敢に取り組めます。また、謙虚さを持ち、他者からのフィードバックや意見を尊重し、協力し合う姿勢を大切にします。

2. 活動の目指すところ

私たちは、社会的な価値を創造し、持続可能な未来を築くことを目指します。情報通信技術やビジネスを通じて社会に貢献し、次世代に対してもインパクトのある行動を起こすことを目指します。革新を通じて、より良い社会の実現に寄与します。

3. 機会の平等

私たちは、性別、年齢、国籍、背景に関係なく、すべての人が平等な機会を享受できる環境を提供します。多様性を尊重し、誰もが自分らしく活躍できる場をつくり出します。公平で透明な選考や評価を徹底し、不正行為を許しません。

4. 相手への思いやり

私たちは、常に他者の立場に立って考え、相手を尊重する行動をとります。協力し合い、互いの強みを生かして成果を上げることを目指します。言葉や行動において、礼儀正しさと敬意を忘れず、共に成長する姿勢を持ち続けます。

5. アンチハラスメント

私たちは、あらゆる形態のハラスメントを許しません。いかなる場面においても、身体的、精神的な嫌がらせ、差別的な発言や行動は一切行わないことを約束します。安心して参加できる環境を維持し、誰もが安心して創造的な活動に集中できる場を守ります。

なお、ハラスメントには以下の行為が含まれますが、これに限定されるものではありません。

- ・特定の属性を差別侮辱したり、支配的な社会構造を強化するような発言
(性別、性自認と性表現、性的指向、障がい、容姿、体型、人種、年齢、宗教、社会的地位や職業他)
- ・公共の場での性的な画像
- ・脅迫、ストーカー行為、尾行
- ・嫌がらせの写真撮影や録音
- ・イベントの継続的な妨害
- ・不適切な身体接触
- ・一方的で望まれない性的関心
- ・上記の行為を推奨または奨励すること

この行動規範を基に、私たちは互いに成長し合いながら、持続可能で多様性に富んだ未来の実現に貢献します。



No ハラスメント 起業家甲子園 起業家万博

起業家甲子園・万博ではアンチハラスメントポリシーを策定しています

ハラスメントは多くの場合、加害者にその意識がないことがほとんどです。年齢や社会的地位の違いから他者に嫌な思いをさせたり、傷つけたりすることが無いよう、相手を尊重する気持ちを大切に接するよう心がけましょう。



相手への連絡先交換強制

個人情報のやりとりはお互いの合意がある場合のみおこなうようにしましょう



2人きりの場への誘い

お互いの信用が確認できるまで、2人きりの場へのお誘いはしない、お断りははっきりするようにしましょう



「お酒が出る場」への未成年勧誘

起業家甲子園・万博では未成年が参加する場面でのお酒が出る場への未成年勧誘を禁止します



ノリや勢いでハグやボディタッチ

気持ちがたかぶり、ノリや勢いで相手の体等に触れる前には、一旦相手との関係性や相手の気落ちを考慮しましょう



アイスブレイクのつもりで口滑り

相手との緊張をほぐすためのトピックとして、容姿や性別について何気なく話すことが相手を不快にさせることがあります

気になることがある場合、すぐに事務局スタッフまで連絡してください



NICT「全国アクセラレータ 起業家甲子園・起業家万博」参加規約(案)

NICT「全国アクセラレータ 起業家甲子園・起業家万博」参加規約(案)

(総則) ↓

第1条 本規約は、国立研究開発法人情報通信研究機構(以下「NICT」という。)が実施する「全国アクセラレータ 起業家甲子園・起業家万博」に参加するにあたり、参加者に適用する規約を定めるものとする。

(参加目的) ↓

第2条 本プログラムは、アクセラレーション支援、メンタリング、ピッチイベント、ネットワーク形成支援等を受ける目的で参加するものとする。

(参加期間) ↓

第3条 参加期間は2027年3月31日までとする。ただし、参加期間終了後も、NICTは本事業の実施及び成果把握、広報活動、アルムナイ活動、関連イベント案内等のため必要な範囲で参加者へ連絡を行うことができる。

(情報公開) ↓

第4条 本事業は、参加者の成長・発展を目指すものであり、参加者のメディア・広報支援のため、企業名又は個人名(屋号可)をNICTのホームページ、SNS、広報資料、成果報告書等に掲載・公表するものとする。

(協力事項) ↓

第5条 参加者は、NICTが求めるアンケートやヒアリング、事例集の作成等に協力するものとする。

(禁止行為) ↓

- 第6条 参加者は、次の行為を行ってはならない。
- 一 本プログラム参加権利を第三者に譲渡又は利用させること。
 - 二 本プログラムの運営を妨害する行為を行うこと。
 - 三 虚偽申告、他者権利侵害、公序良俗違反行為を行うこと。

(届出義務) ↓

第7条 参加者は、住所、名称、代表者、連絡先等に変更が生じた場合その他重要事項が発生した場合、速やかにNICTへ届け出るものとする。

(支援の取消) ↓

- 第8条 NICTは、参加者が次のいずれかに該当するときは、通知催告を要さず、直ちに支援の取消しを行うことができる。
- 一 虚偽申告等不正行為があったとき。
 - 二 第6条に規定する禁止事項を行ったとき。
 - 三 本規約その他NICTが定める事項に違反したとき。

四 公序良俗に反する事業活動を行っていることが明らかになったとき。

五 支援継続が困難であるとNICTが判断したとき。

(知的財産) ↓

第9条 参加者が本プログラムにおいて提供・発表したアイデア、技術、資料等に係る知的財産権は、原則として参加者に帰属する。ただし、NICTは広報・記録目的で利用できるものとする。

(秘密保持) ↓

第10条 NICT及び参加者は、本プログラムを通じて知り得た非公開情報について、法令等に基づく場合を除き、相手方の承諾なく第三者に開示しないものとする。

(自己責任の原則) ↓

- 第11条 参加者は、自己の責任において本プログラムを利用するものとし、本プログラムの利用結果についてNICTに責任を求めないものとする。
- 2 参加者相互間で生じた紛争等について、NICTは責任を負わないものとする。

(反社規定) ↓

- 第12条 NICTは、参加者が次の各号の一に該当する場合、何らの催告を要さず支援を取り消すことができる。
- 一 暴力団その他反社会的勢力に属すると認められるとき。
 - 二 反社会的勢力が経営に実質的に関与していると認められるとき。
 - 三 反社会的勢力を利用していると認められるとき。

(その他) ↓

第13条 本規約の改正・変更等はNICTが行うものとし、その効力は全参加者に及ぶものとする。

「参加規約」をとりまとめ、R8年度エントリーシートに追加 【対応内容】

- ・ 行動規範
- ・ ハラスメント防止に関する周知
- ・ 広報利用等に関する同意取得
- ・ アルムナイ組織参画に関する同意取得

令和8年度 NICT連携大会・ブラッシュアップセミナー等 アンケートご記入のお願い

登壇者の皆様：

このたびは、NICT連携大会・ブラッシュアップセミナー等にご参加いただき、誠にありがとうございました。

本アンケートは、皆様からいただくご意見・ご感想を今後のイベント運営やプログラム内容の改善に活用させていただくことを目的として実施しております。

所要時間は1分程度です。

お忙しいところ恐縮ですが、ご協力をお願いいたします。

なお、ご回答は匿名で集計し、個人が特定される形で公表することはありません。

アンケートフォーム

<https://forms.gle/qmMMcpkN4qk7mEcd7>



☆ご不明の点等ございましたらNICT/ICT Mentor Platform事務局にお声掛けください。

マニュアルほか、起業家応援団・ICTメンターNICT賞受賞者向け資料を
掲載しております。ご活用ください！

■ NICTアクセラレータ・プログラム 資料集



掲載資料(一例)

- ・ NICT賞受賞者向け:
 - ・ エントリーシート/メンタリングフォーム/NICT賞受賞後の流れ/NICTアクセラレータ・プログラム紹介資料
- ・ ICTメンター向け:
 - ・ ICTメンターアンケート各種運営資料
- ・ 起業家応援団向け:
 - ・ 起業家応援団標準マニュアル/シン・産業創出力指標確認シート/連携大会実施報告書参加者アンケート/連携大会運営資料
- ・ スタートアップ支援関係者向け:
 - ・ スタートアップ基礎用語集/各種支援制度情報

「起業家甲子園」・「起業家万博」開催概要(予定)

日程 場所 主催

日程：「起業家甲子園」令和9年3月11日(木)
「起業家万博」 令和9年3月12日(金)
場所：丸ビルホール&コンファレンススクエア
(東京都千代田区丸の内2-4-1丸ビル7階)
主催：総務省・NICT

実施事項

- ・「起業家甲子園」・「起業家万博」各出場者(チーム)によるビジネスプランの発表を実施
- ・ パートナー企業の担当者をはじめとする参加者と各出場者との交流・マッチングを促進【授与を予定している賞】
- ・ 「総務大臣賞」： 審査委員が総合的に評価・審査し、最も優れた発表を行った出場者に授与
- ・ 「NICT理事長賞」： 審査委員が総合的に評価・審査し、次点の出場者に授与
- ・ 「パートナー企業特別賞」： パートナー企業が授与したい出場者に対してそれぞれ授与

起業家応援 団の 皆様へ

- ・ 起業家応援団の皆様におかれましては、万障お繰り合わせの上、「起業家甲子園」・「起業家万博」への参加をお願いいたします。